

く備えあれば憂いなしく

地震災害に備えて

9月1日は、関東大震災を教訓に定められた「防災の日」です。

グラツときたら身の安全を

- 大きな揺れの間は、丈夫なテーブルや机などの下に身を伏せましょう。
- 近くに机などが無いときは、座布団などで頭を保護しましょう。
- 大きな揺れの場合、家具類が倒れたり、窓ガラスが割れたりするため、近寄らないようにしましょう。



素早い消火と火の始末

- 小さな揺れでも火を消す習慣をつけましょう。
- 揺れを感じたら『地震だ。火を消せ!!』と声をかけ、周囲の人にも火を消す行動意識を呼び起こしましょう。
- 地震のとき、消火のチャンスは3度あります。揺れの規模、その場の状況に応じて行動しましょう。
- 第1のチャンス：揺れを感じた時
最初の地震は、それほど強い揺れを感じないはず。『グラツ』とききた時その2、3秒の間に、使用中の火を消します。
- 第2のチャンス：大揺れがおさまった時
大きな揺れの時は、火を消すことは困難です。一度机の下などに身を伏せ、揺れがおさまるのを待って



想定される大規模地震の被害と対策

日本海溝・千島海溝地震対策の 推進地域として指定される

政府の中央防災会議は、房総半島東方沖から択捉島東方沖を震源とした「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震」への対策を講ずる必要がある「防災対策推進地域」に浦幌町を含む1道4県で計119市町村(平成18年4月1日現在)を指定しました。推進地域は、十勝沖、釧路沖など8つの大地震(北海道関係は5地震)を想定し、津波の高さ3m以上や震度6弱以上の揺れなどが予想される地域を対象としています。

防災対策推進地域とは、大規模な地震で著しい被害が予想される地域であり、指定された市町村は、地震対策の「推進計画」を策定し、津波からの避難などの防災対策を推進する必要があります。

推進計画は、市町村の地域防災計画を修正し盛込むこととなっており、浦幌町では現在北海道と協議を行っています。平成19年度以降、津波ハザードマップ等を作成し町民の皆様へ配布したいと考えています。



から火を消します。

○第3のチャンス：出火した時

もし、出火したら手近にある消火器具を使ってみましょう。でも、消火器で消せるのは天井に火が入るまでが限度です。早く近所の人達に火事を知らせて燃え広がる前に協力して火を消しましょう。

窓や戸を開け出口を確保

●地震によりドアがゆがみ、開けなくなつた部屋に閉じ込められる場合があるので、地震が発生したら、いつでも外へ避難できるように出口を

確保しましょう。

●開けたドアが再び閉まらないように、手近な物をはさみ込みましょう。

あわてて外に飛び出さない

●地震のときあわてて外に飛び出すと、窓ガラスや看板などが落ちてきて思わぬケガをすることがあります。●周囲の状況をよく確かめ、落ち着いて行動しましょう。

運転中に地震を感じたら

●スピードを徐々に落として道路の

左側に停車し、揺れのおさまるのを待ちましょう。また、車から離れるときは、ドアロックをせず、キーをつけたままにしましょう。

地震がおさまったら

●ラジオなどで正しい情報を聴き、うわさなどに惑わされないように落ち着いて行動しましょう。●お互いに協力しあい、お年寄りや体の不自由な人の介護をし、けが人の手当てをしましょう。

日ごろから地震対策を！

避難場所の確認を

家族でいざというときの避難所を確認し、避難方法や経路を決めておきましょう。

家具類の転倒・落下防止のポイント

●転倒防止金具などで固定し、倒れにくくしておく。

●サイドボード、食器戸棚、窓ガラスなどのガラスが飛散しないように、飛散防止フィルムをはっておく。

●本棚や茶ダンスなどは、重いものを下の方に収納し、重心を低くする。

●棚やダンスなどの高いところに危険な物を載せておかない。

●食器棚などに収納されているガラス製品(ビン類など)が転倒したり、すべり出さないようにしておく。